

## 令和2年度 公益社団法人 静岡県作業療法士会 第2回理事会議事録

- 開催日時 令和2年6月21日 午後1時00分～3時53分
- 開催場所 コロナウイルス感染対策のため ZOOM にて開催。一部事務局にてリモート形式で参集。
- 出席者（順不同）

理事総数	15名					
出席理事	14名					
代表理事	岡庭 隆門（議長）					
理事	三井 忍	村岡 健史	大庭 俊裕	秋山 尚也	林 正春	建木 健
	岡本 博行	川口 恭子	伊井 玄	稲葉 洋介	生田 純一	齊藤 洋平
	藤田 さより					
監事	小笠原 誠	遠藤 浩之	秋山 恭延			
事務局	高岡 留美	大塚 昭宏	市川 志帆	武内 元		
- 令和2年度静岡県作業療法士会総会の議決について  
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、緊急的な対応として書面または電磁的方法による委任状・議決権行使書のみでの議決で実施した。以下に議決報告をする。
  - 議決権のある当法人の会員の総数 1,579名
  - 総会員の議決権数 1,579個
  - 議決権行使書提出者 615名 委任状提出者 338名
  - この議決権数 953名
  - 結果報告 1号議案・・・承認  
2号議案・・・承認  
3号議案・・・承認結果について6月22日にHPへ掲載予定
- 決議事項
  - 第1号議案 令和2年度事業計画修正について
  - 第2号議案 その他（各部局からの決議事項 新型コロナ対応含む）
- 報告事項
  - 報告第1号 学会進捗
  - 報告第2号 各部報告（職務執行状況の報告 立入検査に向けての進捗含む）
  - 報告第3号 その他
- 開会  
事務局が定数を満たしていることを報告し、議長は本会が成立していることを宣言した。
- 議事の経過要領及びその結果（決議事項）
  - 第1号議案 令和2年度事業計画修正について
    - ①理事会・部会等の会議のあり方と事務手続き  
ガイドラインとして、参集以外 web 会議も奨励。会計監査など参集が必要な場合や顔を合わせて行うべき内容もあるため、基本的には部長及び担当理事に委ねることとして手続きを定める。
    - ②研修会等会員向け事業のあり方と事務手続き  
web 研修対策として教育部の方法を基本として、村岡副会長を窓口到他部局にも浸透させていく。
    - ③その他  
生涯教育制度、現職者研修会の厳格化した開催について、従来 web 開催は認められなかったが、今回それが認められた。まずは新人オリエンテーション（現職者共通研修 1・5）開催を進める。Web 配信源は事務局隣の会場を拠点とし撮影、管理、トラブル等へ対応。グループワークも web 上で行っていく。今回ハイブリッド形式は行わない。参加費の支払いは事前振り込みで検討。

## 【意見】

- ・web研修のための準備研修（ログイン確認や使用方法の説明）が必要。
- ・スマートフォンでの参加は不具合が心配である。資料は別で用意したり Wi-Fi 環境も考慮する等事前の案内が必要。
- ・振り込みについて手数料の支払いやキャンセル時の返金など懸案事項がある。

## 2) 第2号議案 その他（各部局からの決議事項）

### ①学術部

各班代表者・会計、SIG 代表、WG 代表の4名となっているが、それ以外にも事業規模や実態に応じた人員を確保し任命するように理事会へ申請する形を取っていきたい。申請書類は清水部長にて作成 ⇒ 承認

### ②教育部

- ・9月の現職者共通研修+MTDLPの合同開催は中止としたい ⇒ 承認
- ・臨床実習指導者講習会について、今後 web 開催マニュアルが発信された場合は手挙げしたい。⇒ 承認

### ③表彰委員会

2020年度の県士会表彰について、1名辞退する返答があった。岡庭会長より再度依頼をする。

### ④事務局

- ・ハイブリット研修会に向けた準備のため、機材の購入等で補正予算（約50万円）計上したい。ハイブリット形式は今後も検討すべきだが、スクリーン等は、今後 e-ランニングなどを検討していく際にも必要な機材である。⇒ 承認
- ・Zoomの運用方法について  
取得ライセンス（プロ）を購入（1675円/月）  
各部局の事業での使用を進める。同じ時間での使用が不可であり管理方法について Dropbox またはホームページイベントカレンダーにて管理する方法を検討  
⇒ 承認。管理はイベントカレンダーで事務局にて行う。  
今後 web 会議の申請方法など広報部と事務局（総務）と協議する。

### ⑤第34回学会

- ・清水テルサを2021年6月12～13日にて予約済み。一部他団体の予約も入っている。コロナウイルス感染対策の依頼も会場からきている。  
⇒ 承認。他団体や会場の状況に合わせて検討。

## 9. 報告事項

### 1) 報告第1号 学会進捗状況

#### ①第34回学会

毎月 web 中心に会議開催。会場検討や後援申請、公開講座依頼、企画検討など協議中。  
33回学会の演題発表者への対応も含めて検討。

#### ②33回学会

- ・学会誌：6月26日頃の発送予定
- ・会場費：現状は返金困難との返答であるが、再度確認する。

### 2) 報告第2号 各部報告（職務執行状況の報告 立入検査に向けての進捗含む）

#### ①財務部

- ・会計突合作業（4・5月分実施）
- ・財務部会議（毎月開催）
- ・口座開設（計18口座開設手続きが終了）6月下旬より事務局より順次管理担当者へ送付。
- ・会計担当者会議：6月26日、6月28日の2回開催予定。
- ・新規財務部員3名。
- ・インターネットバンキングを開設（口座開設のため便宜を図るため）。
- ・事務局PCのセキュリティを強化する。

#### ②学術部

- ・学会に向けた準備。
- ・小児・発達障害班からの報告。

③教育部

- ・7月に教育部でweb研修開催に向けて準備・デモを行う予定。  
まずは新人オリエンテーションをweb開催しその状況をふまえて今後の方法を検討。

④渉外部

- ・JRAT及び三団体災害対策委員会（web会議）を開催（4/23）

⑤福利部

- ・リーダー研修会については、2日間研修を検討していたが、情勢を鑑み開催できても1日開催で検討。懇親会については、web懇親会も検討してほしい。

⑥地域事業部

- ・おうちで健康増進おすすめリンク集を11動画掲載中。
- ・次世代育成事業（延期）：部員の所属施設にアンケートし、現状難しいとの返答もあり。
- ・チャレンジ事業の募集開始を見送る。

⑦地区報告

- ・東部地区：5件メール配信。
- ・西部地区：8件メール配信。新人へのメール配信は登録が進まず。  
西部地区の有志の勉強会web開催だが、参集での開催より多い参加となっている。
- ・中部地区：特になし。

⑧調査部

- ・学会の参加者アンケートは学会誌に同封されるが受け付けないとする。

⑨地域包括ケアシステム推進委員会

- ・OT協会地域ケア会議及び介護予防・日常生活支援総合事業における臨時web研修へ参加  
今後会員へ配信を検討。県士会として地域包括ケアにおける地域住民・行政・会員のサポート  
ができるよう検討

⑩災害対策委員会

- ・第9回静岡災害リハビリテーション研修会（12/12）web開催を検討中。
- ・静岡JRAT・災害対策委員会 合同会議（6/25）WEB会議開催予定。

⑪表彰委員会

- ・記念品（クリスタル製の賞状のように象ったもの）を贈呈。

⑫事務局

- ・通帳の購入にあたり、書庫の購入と災害対策用の固定用具を購入予定。
- ・総会議案承認したため、県への書類提出。
- ・会費納入について、6月末日期限である旨を未納者への発信を検討。
- ・会員への情報発信が行き届くように委任状回収の状況を鑑みて進める。

⑬規約検討委員会

- ・マニュアルの各部局の有無についてまとめた。7月に規約検討委員会を開催予定。  
今後監査に向けてフローチャートを作成。事前準備など合理化を図るなど形式も検討。

3) 報告第3号 その他

特になし。

10. 第3回理事会：8月1日（土）

令和2年度理事会開催予定日および開催日

	開催日・候補日		備考	主な行事
第1回	4月	19日（日）	新人オリエンテーション時	
第2回	6月	21日（日）	（拡大理事会）	6/21 総会
第3回	8月	1日	納涼会	9月12日13日（47委員会）
第4回	10月	10日 17日		OTリーダー研修会
第5回	12月	12日 5日 19日	拡大理事会、忘年会	
第6回	2月	27日		6日7日（47委員会）
臨時理事会	3月	14日、20日、21日	年度末の会計	

議事録署名人

・岡庭 隆門 印

・三井 忍 印

・村岡 健史 印

・大庭 俊裕 印

・岡本 博行 印

・伊井 玄 印

・秋山 尚也 印

・生田 純一 印

・稲葉 洋介 印

・大石 裕也 印

・川口 恭子 印

・齊藤 洋平 印

・建木 健 印

・林 正春 印

・藤田 さより 印